

自殺予防啓発事業の充実について

1 目的

区では、「健康たいとう21推進計画」と一体的に策定した「台東区自殺予防推進計画」に基づき、自殺予防に関する講演会やゲートキーパー養成講座などの啓発事業、自殺未遂者への支援を実施してきた。しかし、区の自殺の現状は、令和6年の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）で20.72となっており、都の15.53と比較しても高い状況である。

自殺は「誰にでも起こり得る危機」であり、うつ病をはじめとする精神疾患のみならず、性的少数者・外国人などの社会的マイノリティであること、過労、生活困窮、孤独・孤立などの様々な生きづらさが要因であると言われている。

そのため、地域全体で「生きること」への包括的な支援に取り組み、自殺を予防するための環境づくりをさらに進める。

2 事業内容

心のサポーターとは、自殺の予防を目的とするゲートキーパーの役割を包含し、メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、家族や同僚など身近な人に対する傾聴を中心とした支援者のことである。区民への普及啓発のため、子どもから大人までを対象とした「心のサポーター養成研修」を実施する。

(1) 対象者

区内在住・在勤・在学者

(2) 実施方法

プログラムに基づく2時間の養成研修を、集合研修及び区内の団体や学校等の要望に応じた出前講座として実施する。

(3) その他

講座を受講した方に、認定証を発行する。

3 予算額（案）

歳入 31千円 歳出 62千円

4 周知方法

広報たいとう、区ホームページ、X、LINE、チラシ 等

5 今後の予定

令和8年4月 事業開始